

	一字一音節	一字二音節	不明	合計
字音仮名	七二八九 (九六・七%)	二二〇 (〇・三%)		七三〇九 (九六・九%)
訓仮名・ 正訓字	二〇二 (三・七%)	三		二〇五 (三・七%)
その他	一一一 (〇・三%)			一一一 (〇・三%)
不明			五	五
合計	七五一二 (九九・六%)	二二三 (〇・三%)	五	七五四〇 (一〇〇%)

* 一字二音節の字音仮名二〇例は全て地名。

- ・筑(つく) 8、蔵(ざし) 5、信(しな) 3、相(さが) 2、駿(する) 1、
対(つし) 1 (「筑波」7、「筑紫」1、「武蔵」5、「信濃」3、「相模」2、
「駿河」1、「対馬」1)。

* 一字一音節の訓仮名・正訓字のうち用例の多いものは次の通り

- ・児(こ) 29、野(の) 25、見(み) 22、宿(ね) 13、手(て) 9、児(ご) 7、
日(ひ) 6、物(も) 6、水(み) 5、目(め) 5、名(な) 4、木(き) 3、
田(た) 3、汝(な) 3、莫(な) 3、根(ね) 3、葉(は) 3

* 一字二音節の訓仮名・正訓字三例は「中」「芝」「付」。用例は以下の通り。

- ・中麻奈尔 宇伎乎流布祢能 許藝弓奈婆 安布許等可多思 家布尔思安良受波

(三四〇一)

- ・中麻奈に浮き居る船の漕ぎて去ば逢ふこと難し今日にしあらずは

(中洲に泊まっている船と同様、漕ぎ出ていけば逢うことは難しい。今日でなければ)

- ・芝付乃 御宇良佐伎奈流 根都古具佐 安比見受安良婆 安礼古非米夜母

(三五〇八)

- ・芝付の御宇良崎なるねっこ草逢ひ見ずあらば吾恋ひめやも
(逢うことがなかったなら、どうして私は恋に苦しもうか)

* 「その他」に含まれるのは、而(て) 4、者(は) 3 (漢文の助字の転用)、踊り字 14

* 「不明」は三四一九番歌の「奈可中次下」の五文字。